

南信州広域連合第7回広域連合会議 結果報告

日時：平成30年10月23日(火) 14:00～15:09

場所：平谷村役場2階 集団指導室

【出席者】14市町村長、副管理者

〔三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 轟主任研究員、安田研究員

〔南信州地域振興局〕土屋局長

〔飯田建設事務所〕坂田所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔町村会〕岡庭課長、佐々木係長

〔飯田市リニア推進部〕北沢部長、米山課長

〔飯田広域消防〕関島消防長、大藏消防次長兼総務課長、有賀警防課長

〔飯田環境センター〕北原事務長、市瀬場長

〔事務局〕高田事務局長・櫻井広域振興係長・秋山介護保険係長

1 開 会…14:00

2 広域連合長 挨拶

本日は大変ご多用のなか、お集まりいただきありがとうございます。本日は平谷村役場の会議室をお借りしての開催ということで、小池副連合長はじめお世話になるがよろしくお願ひ申し上げます。またそれぞれの立場で広域連合の活動に対し大変なご理解、ご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。

ご案内のとおり明日はリニア・モビリティ革命に関する地域フォーラムが予定されており、阿部知事とも意見交換が出来るかと期待している。本日はそうしたリニア関連の話として、これまでも基本的な考え方について様々な意見を交わさせていただき、基本的な素案をまとめた。これを一つの叩き台として、有識者、関係する皆様方と県とのすり合わせを行いながら肉付けできればと考えている。

本日は調査委託をしている三菱UFJリサーチからも中間報告をいただけることになっている。そうした中でさらに議論を深めていきたい。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

3 協議・報告事項

(1) コンベンション施設及び屋内体育施設に関する検討について (資料No.1)

ア 基本的考え方(素案)に基づく意見聴取の進め方について【説明者：高田事務局長】

① 意見聴取の対象

- ・有識者(リニア将来構想検討会議委員、長野県リニア活用基本構想の助言者ほか)
- ・若い世代(リニアカフェ(まちづくりを考える高校生のサロン))
- ・利用が見込まれる団体((公財)飯田市体育協会、下伊那郡体育協会、飯田文化協会、(株)VC長野クリエイトスポーツ)
- ・経済団体等(飯田信用金庫・しんきん南信州地域研究所、経営者協会、飯田商工会議所、(公財)南信州・飯田産業センター)
- ・隣接地域等(上伊那広域連合)

② 意見を求める項目等

- ・問題意識と考える視点、コンセプトの方向性について
- ・ビジョンの具体化と発想例、他の使い方

- ・他地域、機関との連携、棲み分けについて
- ③ 市町村への照会（意見募集）
 - ・基本的な考え方（素案）について、各市町村へフィードバックし各市町村の中で検討いただきたい。特に様式は定めず、提出期限：12月10日（月）。
- ④ 市町村民対象の意見交換会に向けて
 - ・広域連合会議における協議（1月）→意見交換会の開催（2月）
- ⑤ 広域連合議会における協議
 - ・2月の広域連合議会全員協議会において説明、協議。
- イ 調査業務の中間報告 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) **【説明者：轟主任研究員】**
 - ① 展示、会議の状況
 - ・主催者は地元に行くほど地元率が高まる。
 - ・人材が地域にどれだけあるかが問われる。
 - ・学会等の開催件数は縮小傾向、地方間での誘致合戦の激化が予想される。
 - ② 国際会議の開催動向（国内）
 - ・日本全体では国際会議件数は増加傾向。
 - ・長野県内では松本及び長野での開催が多く、年間2件程度。
 - ③ 学会（国内）の状況
 - ・幹事校を決め、基本的は持ち回り。
 - ・大学施設（講義室等）を使うことが多い。
 - ・10月～11月の開催が多い。
 - ・地域性（個性）があるかないかが問われる。
 - ・ハードよりもソフトが重要。
 - ④ 運営コスト（コンベンション）
 - ・地方では施設利用料だけでは赤字になりがち。
 - ・飲食や宿泊等で波及効果を回収する構図。
 - ・維持費や大規模修繕費は見落としがち。
 - ・運営者でなく設置者が負担。
 - ⑤ アリーナのスポーツ利用について
 - ・現在のプロスポーツは地域密着型。
 - ・観客の大半は地元。
 - ・入場料の収入だけでは賄えない。
 - ・スポンサー収入が大きい。
 - ・年間20試合程度。
 - ・試合のない日でも集客できることが重要。
 - ⑥ 音楽（コンサート）利用について
 - ・CD販売が不振、ライブ（コンサート）を重視。
 - ・アーティスト（演者）による集客力の違い。
 - ・アリーナコンサートを行うアーティスト数は40程度。
 - ・アリーナ席数は10,000席規模。
 - ・採算ラインは、7,000人以上が目安。

- ・会場設営、グッズ販売、楽屋や音響設備の充実等も必要。
- ⑦ 合宿、研修について
 - ・スポーツ合宿（宮崎、鹿児島）が注目されている。
 - ・利用者は周辺中核都市（福岡市）。
 - ・宿泊や飲食、施設利用料などに経済波及効果あり。
 - ・企業等の研修では、交通費分を上回るような付加価値が必要。
- ⑧ アリーナの実例
 - ・指定管理制度を導入している施設が多い。
 - ・稼働率は、施設間に差がみられる（40%～80%の水準）。
- ⑨ 飯伊地域の関連施設の状況
 - ・固定席で500席を超えるもの（あしたむらんど（下條村）・鼎公民館・飯田文化会館）
 - ・体育館は、松川、高森、豊丘の規模が大きい。
 - ・宿泊施設は丘の上、昼神が多い。
- ⑩ 「考える視点」の具体化（イメージ化）の例
 - ・基本的な考え方に異論はない。
 - ・アリーナ等の課題と地域課題の解決等がどのように結びつくのかを一旦整理したほうが良い。
 - ・既存施設で対応可能なもの、既存施設の拡充で対応可能なもの、既存施設をコンバージョンしていくことで対応可能なもの、新しくつくらないといけないものという視点。
 - ・時間軸を入れていくと議論が噛み合っていくのでは。

（主な意見等）

- | | |
|-------|---|
| 豊丘村 | ・宿泊機能との連携やアメニティとの組合せのイメージは今後していただけるのか。 |
| 三菱UFJ | ・相談しながら。 |
| 副管理者 | ・前段のリサーチから我々が何を読み取ればいいのか少しわかりづらかったが、リニア沿線の地方都市として我々が何をしなければいけないのかというポイントを説明いただけるとありがたい。 |
| 三菱UFJ | ・今回は一般的に言われている説明にとどめるが、今後どう進めていくかは首長様方でご議論いただければと思う。 |
| 副管理者 | ・我々がどの視点で考えていけばいいのかを示唆いただけないか。 |
| 三菱UFJ | ・今現在で判断する材料が少ない。 |
| 連合長 | ・本日の意見を今後の調査に活かしていただきたい。 |

ウ リニア駅周辺整備デザイン会議の状況報告 飯田市【説明者：北沢リニア推進部長】

基本計画の整備コンセプトの実現

- ① 機能的でコンパクトな駅空間
 - ・交通機能としてトランジット機能を確保したい。
 - ・北側駐車場、北口交通広場が乗換機能の中心となる。
 - ・自動車及び歩行者の動線について説明。
 - ・交通広場のタクシー及びバスの乗降をイメージした形態を説明。
 - ・自動運転による人とモビリティの共存、可変性への対応。

- ② 自然との調和を目指した駅空間
- ・段丘地形を活かした空間として、周辺を繋ぐフットパスの研究。
 - ・環境と調和したグリーンインフラの検討。
 - ・木質バイオといった再生可能エネルギーなどを地域資源の循環により、ゼロエミッション化を目指す。
 - ・エネルギーセンターを設け、地域の森林資源等を活用したエネルギーの域産域消に取り組み、併せてエネルギーの仕組等を体感できる展示スペース等を確保。
- ③ 信州、伊那谷らしさを感じられる駅空間
- ・駅の高架下を通過する形でフットパスをつくり、地域の暮らしの履歴を感じられる場所づくりを目指す。
 - ・地域と一体化した駅空間を目指す。

(主な意見等)

- 大鹿村 ・立体駐車場は何階くらいか。
- 飯田市 ・現在では2層の高さで考えている。
- 下條村 ・町村のPRの場は。
- 飯田市 ・魅力発信施設として検討している。民間事業者との連携や各自治体等とも具体的に検討を進めていく。
- 根羽村 ・非常に魅力的な施設に感じる。この基本コンセプトはしっかりと貫いていただき、大いに肉付けしていただきたい。
- 阿智村 ・良いコンセプトと思う。降車した時に山並みが見える配慮を。
・伝統芸能等を見せる場も考えればどうか。
- 松川町 ・高架下の有効な使い方(地域の特産物や伝統芸能等)も検討いただきたい。
- 飯田市 ・具体的な検討はこれからしていきたい。高さは5m程度。
- 高森町 ・コンベンション施設及び屋内体育施設と駅全体の方向性を考える時期では。
- 事務局長 ・リニア駅周辺がどのように考えられているのかを、私共もしっかりと情報を得たうえで、自分たちの議論とどう整合させるかということが大事だと思っている。
いただいた意見はこれからの検討に活かしたい。

(2) 後援依頼について(資料No.2)【説明者：高田事務局長】

- ① 「下伊那道路・防災講演会」 11月2日(金) シルクホテル
- ② 「飯田市企業交流シンポジウム」 11月2日(金) 産業振興と人材育成の拠点
- ③ 「南信州阿智村コンサートv o l . 9」 12月15日(土) 南信州チャペル
- 異議なし、承認

(3) 南信州地域振興局から

- ① しあわせ信州移動知事室について
- ② インスタグラムを通じた情報発信誘発事業(第2弾)について
- ③ 県議会での南信州地域における議題について
- 説明内容確認、質疑なし

(4) 飯田建設事務所から

→ 報告事項なし

(5) 飯田保健福祉事務所から

→ 報告事項なし

(6) 下條村から

「脱皮」(ロケ地：下條村・天龍村) 飯田センゲキシネマズ 11月23日(金)から公開。

4 今後の日程について

10月24日(水) リニア・モビリティ革命と都市・地域フォーラム in 飯田、伊那谷自治体会議

10月29日(月) 三遠南信サミット(豊橋市)

11月16日(金) 広域連合会議

5 閉会…15:09